



登別市連合町内会事務局 事務局長 鳴海文昭さん

平成20年6月より現職。40年間、登別市職員として勤め平成20年3月に退職。「今までの町内会の皆様が活動してきた土台ができているからこそ、それが原点となり現在の町内会活動を幅広く、また活性化してくれている」と話されました。現役時代から、地域活動には積極的に関わってきた。「登別のまちが大好きだから」その熱き想いの中で現在、本職に留まらず自分が住んでいる幌別鉄南地区では、郷土芸能「幌別駒おどり」や子どもたちのためのボランティア活動を行うなど、その活躍は多岐にわたる。

鳴海さんの活動を教えてください

現在、市内で活動している町内会、自治会などは93あって、その事務局として活動をしています。市内の町内会は活発に活動しています。その理由は、93の町内会は11地区の連合町内会の組織に入っていて、その各地区より2名ずつ選出された、22名で構成されている役員会が機能しているからです。すべての町内会が連合町内会に入っている、という点で町内会活動がまち全体で活動できる組織力があります。これは私が事務局を務めることになった平成20年時点からずっとそうでした。この組織力の中で、様々な事業に取り組んでいるのです。
#町内会加入促進 #小地域ネットワーク #あいサポート運動 #全市観光の推進 #観光登別

活動にあたって課題を教えてください。

町内会事務局の使命は、「行政と町内会の調整役、パイプ役」と「事業の企画調整」です。行政からのお願い事項を町内会に伝え、町内会からの声を行政につなぎ、地域の課題解決に向けた様々な事業を企画調整していきます。

事業をこなすだけの事務局ではなく、町内会の加入率の減少や役員の高齢化により担い手がいないなどの課題に対して、今後の町内会のあり方をどうあればいいのか、という時期に来ていると思います。

自分は「今後」に力を入れ、事務局体制の強化と、各種団体との統合を模索しながら、課題解決に努力していきたいと思っています。

「のぼりん」について一言、

お願いします。

あってよかったなと思っています。開設した人たちの努力で市民からの認知を受けていると思います。

今後は市教育委員会社会教育Gとの事業のすみ分けをしたなかでの講座の開設をしていくとよいと思います。また、若い子育て中の方々への講座に対しては託児などに地域の人達に協力して頂くような工夫をすると良いと思います。

～町内会に加入しませんか～

「こまったときには
遠い親戚よりも近くの他人」

これは、町内会加入の「のぼりん」に書いてある標語です。地域とのつながり、というだけでなく、津波・地震・火山活動などの自然災害が起きる可能性がある暮らしの中で、有事の際に情報を確実に把握できることで身の安全のためにも町内会に加入した、地域で見守りや支えあいを得られることにより地域で安心して楽しく暮らせることができると思います。加入されていない方は、是非登別市連合町内会事務局（市役所内84-1079）問い合せしてみてください。